



「ISPO PO 個人認証試験」 受験者 募集のお知らせ

義肢装具自立支援学科では、本年度より、国際義肢装具協会（ISPO：International Society for Prosthetics & Orthotics）の定める義肢装具士（ISPO PO：教育水準最高位）の個人認証試験を実施することになりました。つきましては、受験をご希望の4年生ならびに卒業生は、以下の実施概要をご確認のうえ、お申し込みをお願いいたします。

「ISPO PO 個人認証試験」 実施概要

1. 日時

2026年 3月10日(火)、3月11日(水) 2日間 9:00-17:00 (予定)

2. 場所

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 義肢装具自立支援学科

3. ISPO PO 個人認証の取得条件

ISPO PO 個人認証を取得するには、以下の2つの条件が求められます。

1. 「ISPO PO 個人認証試験」に合格すること
2. 本学が提示する5例について症例報告書を提出し認められること

4. 受験資格

【対象者1】卒業見込み学生

当該試験の受験は、本学が定める条件である2年次「臨床実習II（義肢装具施設）」の単位を取得し、卒業かつ義肢装具士国家試験合格の見込みのある者とします。

ISPO PO 個人認証を取得するには、当該試験に合格したのち、卒業後2年以内「症例報告書の作成要項」に従って5例の症例報告書を提出し、認められることが必要です。

【対象者2】既卒生

当該試験の受験は、「症例報告書の作成要項」に従って5例の症例報告書を提出し、認められた者とします。受験の可否は2月末日までにお知らせします。（卒業後15カ月未満の方は3例の症例報告書を提出し、当該試験の合格のち、2年以内に2例の症例報告書を提出してください。）

5. 症例報告書について

1) 症例について

症例報告書は5例の症例について作成してください。その際、装具では、上肢装具、下肢装具、体幹装具、靴型装具、特殊装具、車椅子シーティングの中から、義肢では下腿義足、大腿義足、特殊義足の中から、臨床で経験した症例について「症例報告書の作成要項」に従って作成し提出してください。可能な限り症例に偏りが無いようにしてください。また症例報告書は学会等での症例発表をもって替えることができます。この場合、当該学会の発表抄録と発表資料（PP、ポスター）をPDFにして提出してください。

2) 症例報告書作成要項について

症例報告書は以下のページの「症例報告書の作成要項」を読み、記載フォームを参考に作成して

ください。

3) 症例報告書の提出先と締め切り

提出先：「ISPO PO 認証試験係」

メールアドレス：ispo@nuhw.ac.jp

提出締め切り：2026年2月20日(金)

5. 当日の試験内容

当該試験は、以下の2項目で審査を行います。

1) OSCE 形式の実技（筆記試験を含む）

具体的な日程については、受験の可否のお知らせの際にお伝えします。

2) 症例発表

【対象者1】卒業見込み学生

試験日に、症例発表はありません。

【対象者2】既卒生

提出した5例の症例報告書(学会発表抄録を含む)より、1例についてパワーポイントにまとめ、当日、説明してください。その際の発表内容および質疑応答等を審査します。発表時間は15分、質疑応答は15分とします。発表データは試験当日、発表の場で提出してください。

6. 受験料

受験料は、3万円とします。受験料の支払い方法は、受験資格の審査結果とともにお知らせします。

7. ISPO PO 個人試験結果

2026年3月末日までに、メール等で受験者にお知らせします。

8. 申し込み方法

以下の項目を記載したうえで、症例報告書を添付し、「ISPO PO 認証試験係」までメール(ispo@nuhw.ac.jp)でお送りいただくか以下の※Googleフォームにご入力ください。

Google フォーム：<https://forms.gle/ToSdzYH6t6n6gdrN6>

①氏名(日本語)：

(ローマ字)：

②年齢：

③性別：

④卒業年：西暦 年3月卒業 (義肢装具自立支援学科第 期卒業)

⑤所属先(所属部署)：

⑥所属先住所：

⑦連絡先電話番号：

⑧メールアドレス：

9. お問い合わせ先

何かご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

「ISPO PO 認証試験係」 担当：前田 雄

メールアドレス：ispo@nuhw.ac.jp

以上

症例報告書の作成要項

1) 症例報告書の目的

臨床における症例報告書を作成することで、ISPO PO 教育水準の義肢装具士としてのスキルを有しているかを審査するものです。

2) 症例報告書の書式

書式については、当該フォームを参考にワード等で作成してください。

◆フォント： ゴシック体、明朝体（本文）

※英数字は Century または Times New Roman

◆ポイント： 11pt

◆枚 数： 一症例につき A4 用紙で 3～5 枚程度（図・表・写真を含む）

※適宜、図や表を用いて、わかりやすい報告書を作成すること。

3) 記載項目(症例報告書)

臨床で取り組んだ対象者(疾患・障害)について報告書を作成してください。内容については、原則、以下の項目を参考に記載してください。

(1)はじめに

(2)症例紹介

①疾患・障害名、基本情報(氏名、生別、年齢、身長・体重、職業、障害等級等)

②現疾患・障害の状況等(症状・所見・評価・アセスメント等)

③既往歴・合併症

④生活および職場環境

⑤本人の要望

⑥専門職からの情報

⑦制度

など

(3)治療・リハの方針と処方義肢装具の目的等

(4)処方義肢装具にした理由（例：なぜこのパーツおよび構成要素にしたのか？）

(5)採寸・採型、陽性モデル修正、加工・組立時における特記事項（工夫）

(5)仮合わせ(中間適合検査)

適合項目と手順をどのように行ったのか、また課題に対してどのように対処し、その結果はどうであったなどを記載。結果、(3)の方針ならびに目的は達成していたのか、なども記載。

(6)完成・納品（最終適合検査）はどのように行ったか。

(7)アフターフォローはどうしているか。

(8)考察

(9)まとめ

(10)参考文献等

※作成には参考となる文献も調べ、考察をしてください。そしてその文献を巻末に記載してください。

4) 個人情報保護について(厳守)

個人の情報については個人が特定できないよう一切記載しないでください。

5) 提出期限

2026 年 2 月 20 日(金)

新潟医療福祉大学
リハビリテーション学部 義肢装具自立支援学科

ISPO P0 個人認証試験
症例報告書

症例 1 : _____

提出日 : 西暦 年 月 日 _____

所 属 : _____

氏 名 : _____ (年 月 卒業 期生) _____

※以下の項目を参考に作成してください。

1. はじめに

2. 症例紹介

2. 1 疾患名・障害名

2. 2 基本情報(氏名、生別、年齢、身長・体重、職業、障害等級等)

3. 治療・リハの方針と処方義肢装具の目的等

4. 処方義肢装具にした理由

5. 採寸・採型、陽性モデル修正、加工・組立時における特記事項(工夫)

6. 仮合わせ(中間適合検査)

7. 完成・納品(最終適合検査)はどのように行ったか。

8. アフターフォロー

9. 考察

10. まとめ

11. 参考文献等